公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
地域先駆者育成委員会　委員長　髙嶋　英二	
現状把握	日本では、国民一人ひとりが日本の政治を動かしているという認識が低く、特に若者全体に共通する現象として、選挙での投票に対する責任感が低下しています。若者の政治参画意識の低下は、当事者意識の低下であり地域に対する責任感や共感が育まれず、地域の担い手が育成されません。持続的な地域の発展には、自らも社会の一部であると感じ、地域の課題を自分ごととして考え行動できる先駆者を育成することが必要です。
委員会 設置背景	若者が地域の課題に関心をもち自ら考え行動し、地域の未来を創造できる先駆者を育成する必要があります。
委員会 概要	1.地方自治の主体となる若者を育成する事業
	責任感ある地域社会の担い手を育成するために、ハイスクール議会において学生主体の政策提言を行い、政策を自分ごとと捉える機会を設けることで、主権者意識を醸成します。
	2.JCカップエリア予選開催の支援
	主管LOMの運動を最大化し地域発展に寄与するために、エリア予選の開催支援をすることで、LOM同士の関係性や結束力を強化します。
	3.JCカップ県大会の開催
	自ら考え行動できる自立心や規律に従い協調できる社会性を培うために、JCカップを開催し、相手を尊重する心と勝負に負けても相手を称えるグッドルーザーの精神を学ぶことで、子どもたちの健全な育成をサポートし、地域社会の活性化につなげます。
	4.地域における災害弱者の被害を減らすための担い手育成事業
	安心して住み暮らせる地域をつくるために、災害弱者の被害を減らす担い手育成事業を行い、災害時に率先して行動できる人財が増えることで、防災意識の高い先駆者を育成します。
	5.【ブロ連】FCP(Familly Continuity Plan:家族継続計画)の導入に向けた運動の促進
	被害の減少と家族の命を守るために、FCPの導入を促進し、災害時の家族のルールを決めておくことで、災害時でも家族が冷静かつ迅速に行動することができます。
	6.災害ネットワークの強化
	地域の早期復興に貢献するために、有事の際に日本青年会議所、関東地区協議会と連携しスムーズな災害支援を行うことで、災害発生時の被害を減らします。

委員会による LOM支援の 実施内容	・県議会議員や各高校と連携の強化を図り、各LOMと地域の基盤構築につながります。 ・地域発展の先駆者となる人財を育成する事業を各LOMと開催し、茨城を活性化します。 ・JCカップエリア予選を主管LOMの開催支援し、ブロックとLOMの架け橋となりコミュニティの持続性強化につなげます。 ・LOMと連携して、災害弱者を減らす担い手を育成することで、安心して暮らせるまちづくりをします。
1年間の成果	地域課題に主体的に取り組み、率先して動ける先駆者が活躍する、未来に活力ある安心して暮らせる茨城をつくります。